

【2025年9月号】

医 薬 品 情 報

2025年8月27日発行

今月の新採用医薬品はありません

- | | | |
|---------------------------------------|-------|---|
| 1. 医薬品添付文書の改訂（2025年8月，DSU No. 338） | ----- | 1 |
| 2. 医薬品・医療機器等安全性情報（2025年7月，No. 421） | ----- | 2 |
| 3. 使用期限間近の医薬品リスト | ----- | 3 |
| 4. 医薬品情報 2型糖尿病治療薬～週一回投与 GLP-1 製剤について～ | ----- | 5 |

問い合わせ先：独立行政法人地域医療機能推進機構 九州病院
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2 7 2 5



1. 医薬品添付文書の改訂 (D S U No. 338 より)

★：警告、◎：投与禁忌、併用禁忌、○：重要な基本的注意、重大な副作用

1) オゼンピック皮下注、リベルサス錠（ノボノルディスクファーマ）

○：重大な副作用（追記）

イレウス：

腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。高度の便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2) マンジャロ皮下注アテオス（日本イーライリリー）

○：重大な副作用（追記）

イレウス：

腸閉塞を含むイレウスを起こすおそれがある。高度の便秘、腹部膨満、持続する腹痛、嘔吐等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

3) ジオトリフ錠（日本ベーリンガーインゲルハイム）

○：重大な副作用（追記）

アナフィラキシー

4) バベンチオ点滴静注（メルクバイオファーマ）

○：重要な基本的注意（一部改訂）

肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。

○：重大な副作用（一部改訂）

肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎：

肝不全、AST、ALT、 γ -GTP、ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎があらわれることがある。

5) スニチニブ錠「NK」（日本化薬）、スーテントカプセル（ファイザー）

○：重大な副作用（追記）

高アンモニア血症：

肝機能異常を伴わずに、高アンモニア血症があらわれることがある。意識障害が認められた場合には、血中アンモニア値の測定を考慮すること。

6) フェソロデックス筋注（アストラゼネカ）

○：重大な副作用（追記）

アナフィラキシー

7) キイトルーダ点滴静注（MSD）

○：重大な副作用（追記）

血管炎：

大型血管炎、中型血管炎、小型血管炎 [抗好中球細胞質抗体 (ANCA) 関連血管炎、IgA 血管炎を含む] があらわれることがある。

2. 医薬品・医療機器等安全性情報

オーダーリング端末にログイン後、「部門システム」の「医薬品情報」内フォルダの「安全性情報」に格納していますので、ご覧下さい。医薬品・医療機器等安全性情報（No. 421 2025年7月）

医薬品・医療機器等 安全性情報

Pharmaceuticals
and
Medical Devices
Safety Information

No. 421

目次

1. 医薬品，医療機器等の製品データベースへの登録義務化， バーコードの活用について	3
2. 重要な副作用等に関する情報	7
■ チアマゾール	7
3. 使用上の注意の改訂について（その361） デスモプレシン酢酸塩水和物（経口剤） 他2件	10
4. 市販直後調査の対象品目一覧	11

この医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省において収集された副作用等の情報を基に、医薬品・医療機器等のより安全な使用に役立てていただくために、医療関係者に対して情報提供されるものです。医薬品・医療機器等安全性情報は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能です。

配信一覧はコチラ



PMDAメディアナビでどこよりも早く安全性情報を入手できます。

厚生労働省、PMDAからの安全性に関する必須情報をメールで配信しています。登録いただくと、本情報も発表当日に入手可能です。



令和7年（2025年）7月

厚生労働省医薬局

●連絡先

☎100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省医薬局医薬安全対策課

☎ { 03-3595-2435（直通）
03-5253-1111（内線）2757, 2667
（Fax）03-3508-4364

3. 使用期限間近の医薬品リスト

(2025 年 8 月現在)

年	月	医薬品名	個数	薬価	在庫 金額	年間 使用量
7	9	アトロベントエロゾル 20 μ g	1	581.1	581	1
		アブニション注 15mg	43	115	4,945	275
		エドルミズ錠 50mg	42	244	10,248	399
		エンドキサン錠 50mg	42	21.6	907	0
		オングリザ錠 5mg	48	71.8	3,446	141
		ソリフェナシンコハク酸塩 OD 錠 5mg	19	33	627	706
		ツロブテロールテープ 0.5mg	67	13.3	891	284
		プラノバル配合錠	200	13.2	2,640	0
		プロゲテポー筋注 125mg	10	180	1,800	0
		プロジフ静注液 200mg	3	5,461	16,383	9
		ミリプラ筋注用 70mg	4	34,781	139,124	18
		メチルジゴキシン錠 0.1mg	170	6.1	1,037	146
		ルボックス錠 25	61	14.1	860	47
	10	アクトヒブ	3	4,941	14,823	36
		イトラコナゾール内用液 1%	0.7	6,972	4,880	3.57
		サイメリン注 50mg	16	8,371	133,936	9
		サンディミュン点滴静注用 250mg	12	2,130	25,560	0
		ジピリダモール散 12.5%	1.2	1,620	1,944	0.08
		スピラマイシン錠 150 万単位	44	228.8	10,067	60
		セフジトレンピボキシル細粒小児用 10%「トワ」	2	19,280	38,560	0.18
		ゾーミッグRM錠 2.5mg	12	466.2	5,594	0
		デタントール 0.01%点眼液	9	863	7,767	1
		ネオーラル 10mg カプセル	76	40.2	3,055	33
		ピラマイド原末	0.4	2,300	920	1.51
		プロジフ静注液 200mg	10	5,461	54,610	2
		ベネクレクタ錠 10mg	20	872.8	17,456	47
		ミニリンメルト OD 錠 120 μ g	82	114.5	9,389	25
	11	アウイクリ注フレックスタッチ 300 単位	1	2,081	2,081	1
		アクトヒブ (Hib ワクチン) 溶解液 0.5mL 付	3	4,941	14,823	36
		オリブ油 500mL	0.7	1,400	980	0.1
		グリベック錠 100mg	37	1,413.7	52,307	0

7	11	サムスカ OD 錠 15mg	29	1,206.7	34,994	49
		ストラテラカプセル 25mg	96	139.7	13,411	0
		トリアムシノロンアセトニド口腔用貼付剤 25 μ g	60	31.6	1,896	13
		ノーベルパール 静注用 250mg	1	1,835	1,835	59
		ベイフォータス筋注 100mg シリンジ	1	906,302	906,302	39
		リユープリン注射用キット 1.88mg	2	16,926	33,852	2

処方可能な薬剤がございましたらご協力お願いいたします

4. 医薬品情報 2型糖尿病治療薬～週一回投与 GLP-1 製剤について～

2型糖尿病治療に使用される GLP-1 製剤で週一回投与の注射製剤は、連日投与の製剤と比較して患者のアドヒアランスや QOL を向上させるメリットがあります。近年、従来のトルリシティ®に加え 2020 年にオゼンピック®, 2023 年に新規作用機序であるマンジャロ®が発売され、糖尿病診療における選択肢が広がっています。

そこで今回は、当院で処方できる週一回投与の注射製剤についてまとめましたのでご参照ください。

【作用機序】

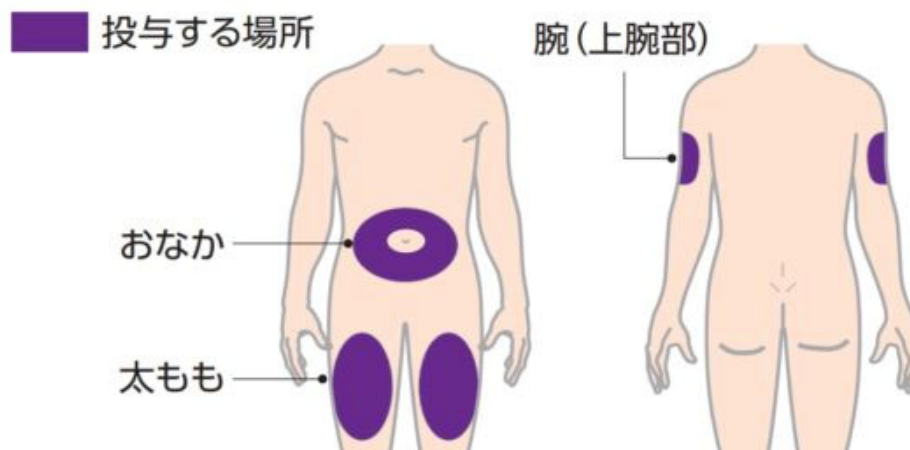
GLP-1 製剤は、GLP-1 受容体や GIP 受容体に作用して効果を発揮します。

GLP-1(グルカゴン様ペプチド)及び GIP(グルコース依存性インスリン分泌刺激ペプチド)は小腸から分泌されるインクレチンホルモンで、グルコース濃度依存的にインスリン分泌促進及びグルカゴン分泌抑制作用を呈し、血糖を降下させます。血糖値が高いときのみインスリンを出すように働きかけるため、単独では低血糖を起こしにくいと言われていますが、併用する薬によっては注意が必要です。

また、胃内容排泄遅延効果や食欲減退作用などもあります。

【投与部位】

注射部位は毎回変更し、全く同じ場所に投与しないよう少しずらした場所に注射します。毎回同じ場所ばかりに注射してしまうと、その場所(皮膚)が硬くなってしまい、注射薬の効き目が悪くなることがあります。同じ部位の中で前回注射した場所より少なくとも 2～3cm ずらして注射してください。しこりやこぶのようになっている場合には、その場所の注射は避けてください。



【副作用】

吐き気、下痢、便秘などの消化器症状がでることがあります。多くの場合、治療開始初期や用量増加の際に起こりやすく次第に軽減することが多いです。嘔吐を伴う持続的な激しい腹痛等が起きた場合は、急性膵炎の可能性があるので、受診・検査が必要です。

【処方時の注意点】

入院時の払出しは、デバイス(表1)により異なります。使い切りペン型注入器は、注射オーダで物品請求及びコスト算定を、複数回使用製剤は、処方オーダで物品請求し、注射オーダでコスト算定をしてください。

表 1 当院で処方できる週一回投与の GLP-1 製剤一覧

デバイス	使い切りペン型注入器	複数回使用製剤	使い切りペン型注入器
商品名	トルリシティ® 	オゼンピック® 	マンジャロ® 
成分名	デュラグルチド	セマグルチド	チルゼパチド
作用点	GLP-1	GLP-1	GIP/GLP-1
分子量	約 63,000	4,113.6	4,813.5
体重減少効果	弱い	中等度	非常に強い
開始用量	0.75mg	0.25mg	2.5mg
維持用量		開始用量から 4週間投与後、 0.5mg へ増量可	開始用量から 4週間投与後、 5mg へ増量可
最大用量		1.0mg	15mg (2.5mg ずつ増量)
針	内蔵 (29G)	A 型専用注射針	内蔵 (29G)
空打ち	不要	初回使用時のみ	不要
保管	2～8℃	未使用：2～8℃ 使用中：2～8℃又は 室温	2～8℃
室温 (1～30℃) で保管 した場合の有効期間	2週間 (遮光)	8週間	3週間 (外箱内)
打ち忘れ時の 対応	次回投与まで 72 時間以上ある場合 すぐに投与し、その後 あらかじめ定めた曜日に投与	次回投与まで 48 時間以上ある場合 すぐに投与し、その後 あらかじめ定めた曜日に投与	次回投与まで 72 時間以上ある場合 すぐに投与し、その後 あらかじめ定めた曜日に投与
同成分の別製剤	—	内服薬：リベルサス® 肥満症治療薬：ウゴービ®	肥満症治療薬： ゼップバウンド®
薬価	0.75mg：2,749 円	2.0mg：11,151 円	2.5mg：1,924 円 5mg：3,848 円 7.5mg：5,772 円 10mg：7,696 円 12.5mg：9,620 円

参考資料：各医薬品の添付文書・インタビューフォーム
各種メーカー作成の患者向け資料

本件の問い合わせ：薬剤部・注射薬室(内線 2721)